

米田浜津波堆積物地層

(村史跡名勝天然記念物)

指定年月日 令和4年3月23日

米田浜津波堆積物地層は、太平洋に面する野田村を代表する景勝地である、十府ヶ浦海岸の南端部に所在しています。

この地層には、記憶に新しい「東日本大震災津波」や、古文書などに巨大津波として記録が残る「貞観津波（869年）」、さらには約7,000年前の縄文時代に発生した津波など、過去に野田村を襲った津波の痕跡が残されています。

東日本の太平洋沖で発生したすべての津波の痕跡が現在確認されているのは、全国でも野田村が唯一の場所となります。



米田浜津波堆積物地層



地層の断面